



【議会報告】 2019年6月定例

避難所の開設

全小中学校・公民館に
拡大へ

昨年の豪雨災害では、開設した避難所が限定的だったことが大きな課題となっていました。党市議団は全ての指定避難所を開けるよう強く求めてきました。市は今後、避難情報が発令された区域の全小中学校・中学校・公民館に開設するとしました。

西日本豪雨災害から1年

願い届いた

やっと認められた公費解体

豪雨災害で敷地が崩れた家屋について市は、立ち入り禁止としながら家屋自体の被害が無いとして公費解体は対象外としてきました。党市議団は、仁比聡平参議院議員(当時)などと共に政府交渉を重ねて「自治体が判断できる」との答弁を得て、これを力に市議会でも粘り強く求めてきました。その結果6月議会では、これまでの判断を見直し公費解体を認めるとの市長答弁を勝ち取ることができました。

元通り住もうとすれば敷地の修復が必要で、家屋の撤去ができないことが、生活再建のネックとなっていました。



引き続き

被災者の医療費免除

岡山市は6月末の国の財政支援終了にあわせ、被災者への国保の医療費や介護保険利用料の免除を打ち切りました。多くの被災自治体や後期高齢者医療協会けんぽが免除を継続しています。市民団体や党市議団が継続を求める中で市は、生活再建できていない被災者には個別に対応すると言い始めました。

しかし、免除の明確な基準は示されておらず、窓口がバラバラという問題もあります。まず党市議団にご相談ください。



7/12 市長申し入れで被災者の実情をうったえる参加者

市政のあり方が問われています

医療費無料化の継続に必要な市の負担分

2.8億円

路面電車駅前広場乗り入れのための駅前改修費用

43億円

被災者の医療費の無料化を継続している自治体

12月まで……倉敷市、笠岡市、井原市、高梁市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町

来年3月まで……新見市

弁護士と無料法律相談

毎月第1～第4月曜日夕方に法律相談を行っています。

要予約

☎803-1707 (市議団)